

社会人

動画リンク：<https://youtu.be/iz5ks1ReKd8>

今回は "社会人" を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には "ふりがな" があります。
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に "ふりがな" はありません。
学習にお役立てください。

■私のこと

私の名前は山田あおいです。日本の会社につとめている社会人です。
去年、学校をそつぎょうしました。それから会社に入り、今、社会人1年目になります。

毎朝、電車にのって会社へ行きます。仕事では、まだ分からないことも多く、まちがえる
こともあります。それでも、まわりの人に教えてもらいながら、少しずつ仕事になれてき
ました。

学生のころは、勉強が中心の生活でしたが、今は仕事が生活の中心になりました。自分で
お金をかせぎ、生活にひつようなお金を自分ではらっています。
これから、日本の「社会人」についてお話しします。

■「社会人」ということば

日本では、「社会人」ということばをにちじょう会話でよく使います。
このことばは、学校をそつぎょうして、会社やお店などではたらいっている人のことをあら
わします。学生ではない人をさす言い方です。

日本では、ねんれいよりも「今、はたらいっているかどうか」が大切にされます。たとえね
んれいがわかなくても、仕事をしていれば「社会人」とよばれます。

日本では、アルバイトをしてお金をもらっている学生もいます。しかし、そのような学生
は、社会人とはよばれません。学生は、勉強が生活の中心だからです。

また、学校をそつぎょうしたあとでも、仕事をしていない人がいます。かぞくやほごしゃ
のたすけをうけて生活している場合もあります。このような人も、いっぱんてきには、社
会人とはよばれません。

日本では、「あんていした仕事をして、自分の生活を支えているかどうか」が、社会人かどうかの一つの目安になります。

たとえば、学校をそつぎょうしてはたらき始めるときに、「来年から、社会人になります」と言います。また、じこしょうかいでは、「私は日本ではたらいている社会人です」と言うこともあります。このように、「社会人」は、日本の生活や仕事の中でよく使われる、日本どくとくのことばです。日本ではたらくことをりかひするために、大切な考え方の一つです。

■学生と社会人のちがい

学生の生活は、勉強が中心です。学校に行き、じゅぎょうをうけ、テストやしゅくだいがあります。学校の時間わりに合わせて一日をすごす人が多いです。

一方、社会人の生活は、仕事を中心になります。毎日会社に行き、決まった時間に仕事をします。仕事のないようは人によってちがいますが、せきにんをもって自分のやくわりをはたします。

学生は、生活の多くを学校で過ごしますが、社会人は、会社や仕事に使う時間が長くなります。また、社会人は、仕事をしてお金をもらい、そのお金で生活します。やちんや食べ物のお金、電気や水のお金も自分ではらいます。

このように、学生と社会人では、生活のリズムや考え方に大きなちがいがあります。日本では、このちがいをとても大切に考えています。

■日本の学校と社会人になるまで

日本では、子どもはまず小学校に通います。小学校は6年間です。そのあと、中学校に3年間通います。小学校と中学校の9年間は、ぎむきょういくです。

中学校をそつぎょうしたあと、多くの人は高校にしがくします。高校は3年間です。高校はぎむきょういくではありませんが、しがくする人が多いです。

中学校をそつぎょうして、すぐにはたらき始める人もいます。その人は、中学そつぎょう後に社会人になります。また、高校をそつぎょうしてから、社会人になる人もいます。

高校をそつぎょうしたあと、大学にしがくする人もいます。大学をそつぎょうしてから、社会人になる人もいます。このように、人によって、社会人になるじきがちがいます。

■「社会人」が使われる場面

「社会人」ということばは、にちじょうの会話の中でよく使われます。とくに、人生のへんかや立場のちがいを話すときに使われます。

たとえば、学校をそつぎょうしてはたらき始めるとき、「来年から、社会人になります」と言います。これは、学生の生活が終わり、新しい生活が始まることをあらわします。

また、かぞくや友だちとの会話でも使われます。「もう、社会人なんだから」と言われるときは、子どもではなく、大人として考えて行動してほしい、という気持ちがふくまれています。

じこしょうかいのときにも、「社会人」ということばを使うことがあります。この場合は、仕事をしている立場であることを、かんたんに伝えるためのひょうげんです。

このように、「社会人」は、日本の人が立場や成長をあらわすときに使うことばです。

■日本の社会人が大切にしていること

日本の社会人は、仕事をするときの行動をととても大切にします。その中でも、時間をまもることは、特に大事だと考えられています。

会社では、決められた時間に仕事を始めます。かいぎややくそくがあるときは、おくれないうように行動します。早めに行動する人も多く、時間にたいしてきびしいとかんじる外国の人もいます。

また、あいさつやことばづかいも大切です。朝は「おはようございます」と言い、仕事が終わったら「おつかれさまでした」と言います。ていねいなことばを使うことで、相手への気づきをあらわします。

このような行動は、仕事をうまくすすめるためだけでなく、いっしょにはたらく人とのしんらいを作るために大切にされています。

■社会人1年目の生活

日本では、はたらき始めてから1年目の人を「社会人1年目」と言います。このじきは、仕事にも生活にも、まだなれていない人が多いです。

会社では、分からないことがたくさんあります。仕事のしかたや、会社のルールを少しずつおぼえていきます。まちがえてしまうこともあります、それも大切なけいけんだと考えられています。

そのため、日本では、社会人1年目の人に対して、「今は学ぶじき」と考えることが多いです。せんぱいや上の人が、仕事を教えてくれる場面もよく見られます。

社会人1年目は、大変なこともあります、少しずつできることがふえていくじきでもあります。

そのため、日本では、社会人1年目の人に対して、「今は学ぶじき」と考えることが多いです。せんぱいや上の人が、仕事を教えてくれる場面もよく見られます。

社会人1年目は、大変なこともあります、少しずつできることがふえていくじきでもあります。

■外国人にとっての「社会人」

外国人にとって、「社会人」という考え方は、少し分かりにくいかもしれません。日本では、ねんれいよりも、今どんな立場で生活しているかが大切にされるからです。

日本ではたらき始めると、仕事だけでなく、生活のしかたも変わります。時間をまもることや、まわりの人への気づき、毎日の生活の中でもとめられます。

これは、日本の社会人として、少しずつみにつけていくものです。はじめから、すべてをうまくできるひつようはありません。

とくに、社会人1年目は、学ぶことが多いじきです。まちがえながら、少しずつなれていけば大丈夫だと考えられています。

日本ではたらくとき、「社会人」という考え方を知っていると、仕事や生活をりかいしやすくなります。

このことは、日本の文化を知るための、大切なヒントの一つです。

「社会人」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Easy Japanese-listening-SUSHI

